
仮面ライダーディレード～世界を巡る特撮ヲタ～

三駄一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーディレイド〜世界を巡る特撮ヲタ〜

【Nコード】

N5195BA

【作者名】

三駄一

【あらすじ】

特撮オタクの主人公は異世界の怪人に襲撃される。そこに現れた3人の仮面ライダー。

「お前は仮面ライダーになった。お前はこれから各世界の自分の変身しているライダーの力を手に入れて来い。」

今、少年の世界を巡る自分探しの旅が始まる…！

駄人間の処女作です。駄文になると思います。
オリジナルライダーが多数登場します。苦手な人は注意して下さい。

プロローグ(前書き)

短いです。駄文ですがよろしく願います

プロローグ

昔から特撮は好きだった。周りからオタクと呼ばれる程に。中でも仮面ライダーは特に好きだった。

だが、いざそんな光景を目の前になると流石に立ち尽くすしか無いのが人の運命。

俺の前に広がる風景は明らかに常識を反していた、言うなれば俺の好きな特撮の世界だ。破壊された街、逃げ惑う人々、様々な武器を持った異形の集団。俺は思わず腰を抜かしてしまった。こんなことが有り得るのか…。

何時の間にか手に持っていたレバーの付いたスロットマシンのようなバツクルと数枚の青縁のメダル。異形は明らかにそれを狙っている。それが何か分からないまま俺はただ怯えるしか無かった…。

迫って来る牛の異形の鉈が振り上げられる。もう無理だ…俺ここで死ぬ…今までのことが頭に蘇ってくる…ああこれが走馬灯なんだ…。目をつぶり無意識に俺はこう呟いた…

「仮面ライダー…」

様子がおかしい。振り下ろされる筈の鉈が来ない。

何かを切る音がする。恐る恐る目を開けると、そこには先程の牛の異形が倒れており、俺と異形の間には三人の戦士がいた。1人は黒いバツタのような姿に真っ赤な複眼、赤い風車のようなパーツが2つ付いたバツクルの戦士。1人は金の籠のような姿に赤い複眼の戦士。中央に立っているのはマゼンタのボディにバーコードのようなマスクの戦士。俺はこの戦士達を知っていた…

「RX…アギト…ダイケイド…」

俺の旅はここから始まった…。

プロローグ（後書き）

いかがでしたか？

主人公の名前は決まってもませんWWW

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5195ba/>

仮面ライダーディレード～世界を巡る特撮ヲタ～

2012年1月14日12時47分発行